

平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	防犯ボランティア支援事業の推進		担当部局	生活安全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～		担当課室	生活安全企画課		生活安全企画課長 河合 潔		
会計区分	一般会計		施策名	1 市民生活の安全と平穩の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	安全・安心なまちづくり全国展開プラン 犯罪に強い社会実現のための行動計画2008				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「犯罪の起きにくい社会」を実現するために、防犯ボランティア活動を幅広い世代の参加を得たものへと発展させ、地域のシステムとして定着化を図るとともに、活動の更なる活性化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自主防犯活動の一層の活性化と定着化を促進するため、活動拠点を設置して行われる自主防犯活動に対し、防犯パトロール用品の無償貸付や地域安全情報の提供などの各種支援を行い、また、大学生、短期大学生等の若い世代や会社員、公務員、自営業者等の現役世代による自主防犯活動への参加促進を図るため、自主防犯活動に関心のある者の募集、防犯ボランティア団体の結成方法や活動内容等のノウハウに関する説明会の開催、防犯パトロール用品の無償貸付等の支援を行う。さらに、防犯ボランティア活動の裾野を広げ、質の向上を図るためにフォーラムを開催し、先進的な活動を行う団体の活動内容を全国に発信する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	59	10	7	7	6	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	59	10	7	7	6	
	執行額	43	9	5				
執行率(%)	73%	90%	71%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 防犯ボランティア活動の活性化・定着化 (参考指標) 支援の対象となる防犯ボランティア団体数		成果実績	団体	200	47	47	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	支援の対象となる防犯ボランティア団体の所在する都道府県		活動実績 (当初見込み)	県	47	47	47	
					(47)	(47)	(47)	
単位当たりコスト	5,201千円 / 年		算出根拠	年間執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	旅費	2	2					
	外部委託	4.9	3.4					
	諸謝金	0.2	0.2					
	計	7.1	5.6					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	全国の防犯ボランティアは、団体数、構成員数ともに増加しているが、質が高く、継続的な活動を維持していくためには、現役世代等の幅広い世代の参加を得たものに発展させる必要がある。モデル事業として実施したことで、幅広い世代の参加への呼び水効果が十分に期待できる。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か、競争性が確保されているか。	防犯パトロール用品については、ニーズが高いものを選定しており、また、適切な契約方法を選択し、競争性を確保している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	支援した団体については、各都道府県において、現役世代を中心に活発な活動を行い、成果目標を達成するとともに、活動実績も見込みと見合ったものとなった。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 契約書及び納品書等を確認する等して支出先・使途を的確に把握している。使途については十分と認められる。</p> <p>2 見直しの余地 防犯パトロール用品については一般競争入札をしており、募集中チラシについては、公募の上、随意契約をしており、競争性は確保されている。これまでの事業により、全国の防犯ボランティアは、団体数、構成員数ともに増加したが、防犯ボランティア活動を幅広い世代の参加を得たものへと発展させ、活動の質を向上させる必要がある。平成24年度は、防犯ボランティア活動の裾野を広げ、更なる質の向上を図るため、事業の見直しを行った。</p>		
	<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 平成24年度執行実績に見合った単価減額に努めること。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
<p>一部改善</p> <p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
縮減	<p>平成24年度執行実績に基づき単価減額を行い、平成25年度予算の概算要求に反映させた。(削減額:1.5百万円)</p>		
<p>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			
特になし			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	当初2-2	平成23年行政事業レビュー	10

警察庁
5.2百万円

〔 防犯パトロール用品の購入
募集用チラシの作成 〕

< 物品購入費 >
〔 一般競争入札 〕

A.株式会社ナカネ
3.6百万円

〔 無償貸付を行う
防犯パトロール用品の購入 〕

< 印刷製本費 >
〔 公募型プロポーザル方式 〕

B.株式会社廣済堂
1.6百万円

〔 募集用チラシの作成 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.株式会社ナカネ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	防犯パトロール用品	3.6			
計		3.6	計		0
B.株式会社廣済堂			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	募集用チラシ	1.6			
計		1.6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ナカネ	防犯パトロール用品	3.6	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社廣済堂	募集用チラシの作成	1.6	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

現役世代の参加促進を図る環境づくり支援事業

事業の概要

現役世代の参加が見込まれる青色防犯パトロール活動や夜間活動を行おうとする団体であって、現役世代の募集に熱意のある団体を公募し、支援事業実施団体として選定された団体に対し、活動に必要な防犯パトロール用品の無償貸付や現役世代募集用チラシの提供、防犯講習等の実施、現役世代の募集に係る指導・助言等の各種支援を行うことにより、現役世代が活動に参加しやすい環境づくりを促進する。

事業の流れ

防犯ボランティア団体の公募

各都道府県警察において、

既存団体の応募要件(いずれの要件も満たすこと)

- ・ 新たに青色防犯パトロールや夜間活動を行おうとしている団体又は、青色回転灯装備車両の増車や活動地域の拡大等を行う団体
- ・ 現役世代を広く募集し、受け入れる予定のある団体
- ・ 構成員数が10名以上の団体
- ・ 警察庁の支援事業を実施したことのない団体

新規団体の応募要件(いずれの要件も満たすこと)

- ・ 青色防犯パトロール活動や夜間活動等の自主防犯活動を行うため、新たに団体を結成しようとしている現役世代を中心とした団体
- ・ 現役世代を広く募集しようとする団体
- ・ 構成員数が10名以上でかつ現役世代が半数以上を占めている団体又は、構成員数の10名以上が現役世代である団体

を公募。



各都道府県警察

公募



応募



既存団体

現役世代を中心とした新規団体

都道府県警察から警察庁へ推薦

警察庁において、実施団体を選定

実施団体への支援



警察



支援



実施団体



・夜間活動・青色防犯パトロールの開始
・チラシ等を活用した現役世代の参加募集

【支援内容】

- ・ 活動に必要なパトロール用品の無償貸付
 { 青色回転灯、車両用マグネットシート、パトロールベスト }
 { 青色LED付懐中電灯 }
- ・ 現役世代の参加募集用チラシの配布
- ・ 地域安全情報の提供
- ・ 防犯講習等の実施
- ・ 合同パトロールの実施等を通じた防犯パトロールのノウハウの伝授
- ・ 現役世代の募集に係る指導・助言

ブロック別防犯ボランティアフォーラムの開催

防犯ボランティア団体 { 全国(平成22年末現在) 4万4,500団体 270万人 } ← 平成15年末の 約15倍

各都道府県1団体選出(47団体)

ブロック別防犯ボランティアフォーラム ～ 先進的な活動内容の発表と他団体との意見交換～

開催目的 防犯ボランティア活動の質の向上と継続性の確保
開催時期 5月～7月頃 開催場所 下記6ブロック

北海道・東北ブロック

近畿ブロック

関東ブロック

中国・四国ブロック

中部ブロック

九州ブロック

成果を
フィードバック

活動の
更なる
活性化

各ブロックごと1団体選出(6団体選出)



防犯ボランティアフォーラム2012

開催日 10月20日 開催場所 東京都内

安全・安心なまちづくりの日
(10月11日)関連行事